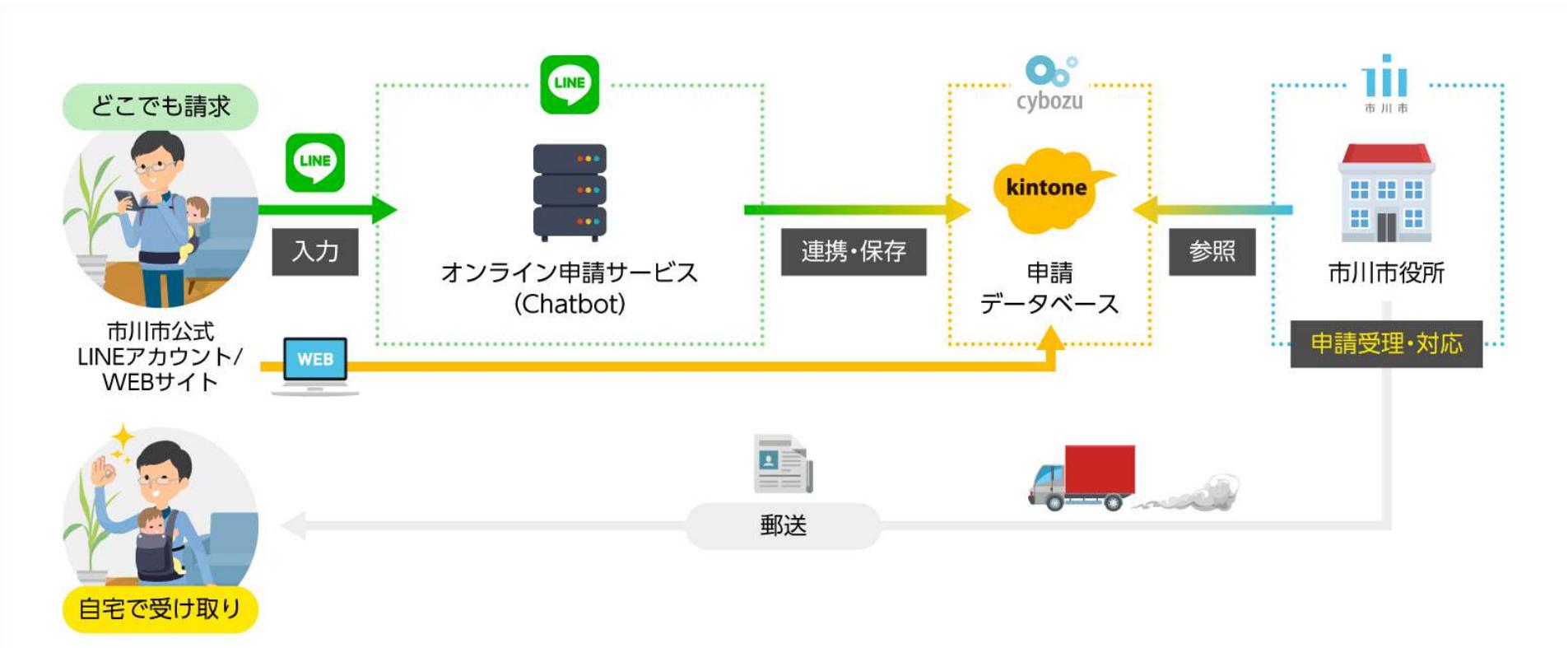


業務改革事例①：千葉県市川市

行政手続のオンライン化で「来なくてすむ市役所」を実現

LINEやフォームブリッジを活用、住民票オンライン請求を可能に

- ◆ 市民がLINEやWebページからあらゆる行政手続できるような仕組みを目指し、
2019年3月から「住民票のオンライン申請」の実証実験を開始



kintoneで市民が「来なくてすむ市役所」を実現

数百ある全ての手続をリスト化

市民生活に密着した手続から順次オンライン化することで
「来なくてすむ市役所」の実現を目指す



kintoneで市民が「来なくてすむ市役所」を実現

業務ごとに適したインターフェースを選択可能

情報の集約先はkintoneに統一することで柔軟性を担保

職員用
データベース

住民向け
インターフェース



自治体

住民



続々とオンライン機能を追加

■ LINE

1. 駐輪場使用許可申請
2. り災証明書交付申請
3. 道路・公園等の損傷投稿
4. 住民票オンライン申請
5. 大型ごみの受付・支払
6. 問い合わせ自動応答サービス
7. 情報配信サービス など



■ メリット

- ・LINE PAYで決済が必要な業務にも対応可能
- ・問い合わせに対する自動応答や情報の配信も

■ デメリット

- ・外注で作成するため、都度時間と費用がかかる

■ フォームブリッジ

共通

1. 駐輪場使用許可申請
2. り災証明書交付申請
3. 道路・公園等の損傷投稿
4. 減収対策緊急支援金申し込み
5. 職員採用試験エントリー
6. 成人式実行委員募集 など



■ メリット

- ・月額14,000円でフォームを無制限に作成可能
- ・低コストで素早く実装

■ デメリット

- ・決済や情報配信の機能がない

LGWAN対応で、さらにセキュアに

- ◆ 株式会社両備システムズの「R-Cloud Proxy for kintone」を導入し、LGWAN対応を実現。セキュリティポリシーをクリアする環境で、市民の個人情報を保護。

